

インターネットのルール&マナー

第8回

電子メール(3)

7月号に引き続き、電子メールの利用にあたって注意すべき点についてご紹介します。



チェーンメールに 注意する

「不幸の手紙」のように、はっきりと相手特定しないで伝言を求める電子メールを「チェーンメール」と呼びます。チェーンメールはネットワークに大きな負担を強いることから、たとえそれが親切のつもりであってもしてはいけません。

「あなたは 日以内にx人の友人にこの内容を伝えてください」というような依頼は、たとえ親しい人から届いた電子メールであってもこれに応じるのはやめましょう。

セキュリティに気をつける

電子メールは、ネットワーク上のいくつかのコンピュータを経由して相手に届きます。封をしない手紙と同様に、クレジットカードの番号やパスワードなど他人に知られてはいけない情報はもちろん、秘密にしておきたいことは書かないようにするのが良いでしょう。

虚偽の情報に注意する

電子メールで他人になりすましたり、他人の電子メールの内容を改ざんして転送してはいけません。

また、まちがった噂話を広めることのないよう、情報の信頼性をよく確認してから伝えるようにしましょう。



不愉快な 電子メールへの対処

不愉快な内容の電子メールを受け取ったら、相手にしないようにしましょう。また、挑発的な言葉を投げかけられても応じてはいけません。常に冷静に対応するように心がけましょう。



返事が遅くても怒らない

あなたが送信した電子メールに対して、すぐに返事がこないからといってイライラしてはいけません。相手に事情があって、返事をするのが遅れているのかもしれませんが。いくつものネットワークを経由するインターネットでは、配達途中で事故があって相手に届いていないこともあります。

重要な内容の電子メールを受け取ったらすぐに、受け取ったことを知らせる電子メールを返信しておくとい良いでしょう。きっと相手は電子メールが無事に届いたかどうか心配しているはずですよ。



受信した電子メールを 公開しない

電子メールの内容を他の場所に転載したりすると著作権の侵害にあたる場合もあります。また、あなた以外の人に知られることによって本人の名誉が傷ついたり、プライバシーに関する情報がもれて迷惑をかけるかもしれません。

受け取った電子メールを転送したり転載したりする場合には、本人に連絡して承諾を得るのが良いでしょう。私信である電子メールをホームページなどの公開された場所に掲載するときは、ことさら慎重に取り扱しましょう。

今回は電子掲示板、メーリングリストの利用時に注意すべきことをご紹介します。

本文は財団法人インターネット協会が作成した資料を参考に市で編集しました。

(問) 企画課情報管理係

54-1111 (内線171)